



はるっこルーム

親子連れ優先のスペースです。
親子で遊びを楽しみましょう。

とき 月～金曜 午前10時～

※予約制

※予約方法は児童センターにお問合せください。

こどもの育ち何でも相談

言葉の遅れやコミュニケーションの心配など、育児の悩みを臨床心理士に相談できます。

とき 11月27日(金)午前10時～

10時45分・11時～11時45分

ところ 児童センター内

相談員 臨床心理士 松本敬子氏

※予約制 各回2組まで
受付開始 11月4日(水)午前10時

※支援センターの行事に関しましては、大治町社会福祉協議会ホームページおよび支援センターたよりでお知らせしています。

令和3年度 児童クラブ入会児童募集

対象 保護者が就労等により昼間家庭にいない町内の小学校に通う児童

開設日 日曜・祝日・年末年始を除く毎日

開設時間

・平日下校時～午後6時

・土曜と春・夏・冬休み

午前8時30分～午後6時

※午後7時までの延長保育あり

(土曜を除く)

※春・夏・冬休みは午前7時30分からの早朝保育あり(土曜を除く)

開設場所

・東部児童クラブ

(大治小学校の児童)

大治小学校体育館南

・西部児童クラブ

(大治西小学校の児童)

大治西小学校北西

・南部児童クラブ

(大治南小学校の児童)

総合福祉センター3階

費用(月額)

・利用料金 6000円

(8月は9000円)

※母子家庭は減免制度あり

※延長・早朝保育の場合は、別途利用料金が必要です。

・おやつ代 1500円

●令和3年度申請

提出書類 所定の申請書および勤務証明書等

配布開始 11月10日(火)午前

9時30分～午後6時

※土曜も配布しています。

配布場所 児童センター

入会決定通知 2月上旬ごろに入会決定の可否をお知らせします。

2月までの問合せ先
児童センター
(総合福祉センター3階)
☎(441)1781

※小学生未満のお子さんは保護者の方が必ず付き添ってください。

子ども・妊婦の インフルエンザ予防接種 費用助成のお知らせ

今年度に限り、子どもや妊婦のインフルエンザワクチンの接種に係る費用の一部を助成します。

対象 接種日に大治町に住所を有し、接種日時時点で次のいずれかに該当する方

① 生後6カ月から中学3年生までの子ども※申請者は保護者

② 妊娠届出書を提出している妊婦

助成額 一人当たり一回限り1500円

助成の対象となる予防接種期間

10月1日(木)～令和3年2月28日(日)

申請の期間 11月2日(月)～令和3年3月12日(金)(当日消印有効)

その他

申請書は町ホームページまたは窓口等で入手できます。

詳細についてはお問合せください。

申請・問合せ先

保健センター健康館すこやかおはる

☎(444)2714

QRコード



ファミリー・サポート・センター依頼会員募集

子どもの送迎・預かりをお願いしてみませんか。

対象 生後6カ月から小学6年生までの子どもがいる町内、あま市内在住・在勤の方

※登録説明会に参加が必要

●登録説明会

とき 11月20日(金)午前10時～11時45分

ところ あま市七宝公民館

定員 8名

※無料託児あり 要予約

・生後4カ月から未就学児まで
・説明会の1週間前に締め切り
申込方法 説明会の3日前までに電話かメールで申し込み

※件名「説明会申込み」、本文「氏名、電話番号、参加日、託児の有無(有の場合は名前、月年齢)」

問合せ先 あま市・大治町広域

ファミリー・サポート・センター

事務局 ☎(462)0150

ama-harufamiso

@clovernet.

ne.jp



病児・病後児保育室「ポニールーム」

保護者が就労等のために家庭で保育できない病気または病氣回復期にある児童を一時的に保育します。

本町は、医療法人葉倫会へ委託して、クリニックに隣接した専用の保育室(ポニールーム)で行っています。

いざという時のために、まずは事前登録をしましょう。

対象児童 生後10カ月～小学6年生

登録先 医療法人葉倫会 みきクリニック(三本木屋形106)

☎(444)7005

その他 利用登録書類は、みきクリニック、役場子育て支援課で配布するほか、町ホームページからダウンロードできます。

問合せ先 役場子育て支援課

内線167

子育て世帯への臨時特別給付金について

子育て世帯への臨時特別給付金の申請はお済みでしょうか。

11月の公民館ロビー展示

書道展

11月1日(日)～15日(日)

●毛筆同好会

写真展

11月17日(火)～29日(日)

●写真同好会

※日程は都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

歯の健康講座 海部歯科医師会

感染症避けつつオーラルフレイル予防

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控える生活が続いています。高齢者は感染すると重症化しやすく、警戒が必要です。

家に閉じこもりの生活は心身の衰弱を招きやすいですが健康維持のための散歩やジョギングは「必要な外出」とされています。

また、人とのつながりを持ち続けることも大切です。介護が必要になる手前の状態をフレイルといい、**①食べこぼし****②わずかなむせ****③噛めない食品が増える****④滑舌低下**等のオーラルフレイルを防ぐには、基本はしっかりと動き、しっかりと食べること、人とのつながりを大切にする事です。

感染症の恐れは低くなったものの、寝たきりや口腔機能低下ということがないよう、かかりつけ歯科医師と一緒に、口腔機能向上とケアを継続していくことが重要です。